令和３年度　入学生用　〔　理　　科　〕シラバス

北海道北見緑陵高等学校

教科	科目	単位数	種別	年次	
理科	生物基礎	2	選択科目	2年	
使用教科書	未定			担当者	

学習目標	自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
学習方法	生物的な現象について、用語を用いてどのような現象か説明できるようになること。 言葉だけでなく、図説等を用いて構造体の理解も深めること。
学習評価	育成を目指す資質・能力 / 育成を目指す資質・能力の評価内容 1 基盤的学力：文章を読み解き、対話により意見や考えを他者と交わすことができる。 2 問題発見・解決能力：問いを立て、解決に向かうことができる。 3 情報活用能力：情報を活用し、問題発見・解決や自分の考えの形成に役立てることができる。 4 主体的判断能力：物事を多面的に吟味し、主体的に判断・行動することができる。 5 協働力：他者を尊重し、協働することができる。 6 自律力：規範意識をもって自律的に行動することができる。 7 実践力：自ら考えて行動し実践することができる。 8 自己認識力：自分の思考を客観的に捉えることができる。 以上の観点をふまえ、 授業の取り組みや定期考査、課題テスト、課題提出状況などを総合的に評価します。
担当者から	専門用語が多数出てきます。後回しにせず、その都度復習をして覚えること。

月	大単元	単元（題材）	学習内容	重点評価事項(資質・能力) 1	2	3	4	5	6	7	8	単元（題材）の評価基準	評価方法
4	第1編 生物と遺伝子	生物の特徴	生物の多様性と共通性	○	○	○						生物の共通性に気づかせ、その分類を知る。	年4回の定期考査 実験の際のレポート 小テスト ノートの記載内容 などを元に評価する。
4			細胞とエネルギー	○	○							異化と同化のしくみを知り、光合成と呼吸で起こる反応について考えさせる。	
5			顕微鏡の扱い方				○	○		○		顕微鏡を用いた観察技能を身につけ、まとめ方を知る。	
6		遺伝子とそのはたらき	遺伝現象と遺伝子	○	○		○					DNAの構造と役割を知る。	
7			遺伝情報の複製と分配	○	○		○					体細胞分裂のしくみを知り、その特徴を学ぶ。	
8			遺伝情報とタンパク質の合成	○			○			○		DNAからのタンパク質合成方法を考えさせる。	
9	第2編 生物の体内環境の維持	生物の体内環境	体液とその働き	○	○		○					内部環境の恒常性の意義を考えさせる。	
9			生体防御	○					○		○	多重に設けられた免疫システムについて学ぶ。	
10			体内環境の維持のしくみ	○			○			○		体液を一定に保つ内臓の例として、腎臓と肝臓について学び、自律神経系の調節について知る。	
10		バイオームの多様性と分布	生物の多様性とバイオーム	○	○	○					○	植生の意味を知り、植物の分類を考える。	
11			バイオームの形成過程	○	○	○						植生の遷移の原因を考え、極相がどうなるか考える。	
12			バイオームとその分布	○	○	○						各地の気候とそれに応じた植生を学ぶ。	
1		生態系とその保全	生態系	○			○	○				生産者と消費者の関係、生態系ピラミッドの概要を知る。炭素、エネルギー、窒素に着目した循環を考える。	
2			生態系のバランスと保全	○			○	○				生態系のバランスの成り立ちを学び、保全を考えさせる。	
3			生態系の保全	○					○		○	人間活動が生態系に及ぼす影響を考える。	